

## 河川工作物アドバイザー会議 設置要綱 (案)

## 1 目的

知床世界自然遺産地域科学委員会の河川工作物ワーキンググループにおいて、改良が適当と判断された知床世界自然遺産地域内のダム等については、河川工作物の設置者(北海道森林管理局、北海道、斜里町)によって順次改良が進められるとともに、~~またサケ科魚類の遡上モニタリング等が行われてきたが、~~今後、遡上モニタリングの評価方法が追加的に検討すべき課題となっている。

当アドバイザー会議は、これらの改良工事及びから数年を経て、順次モニタリングについて、~~を評価する時期が到来しつつあることから、このモニタリングをフォローアップし、追加的な工事に関する技術的助言を頂くために及び適正なモニタリング評価実施のための科学的視点からの助言を受けることを目的として開催するもの。~~

## 2 構成

## ○委員

(科学委員会委員)

中村 太士 北海道大学大学院農学研究院 教授

(特別委員)

帰山 雅秀 北海道大学大学院水産科学研究院 教授

小宮山 英重 野生鮭研究所 所長

妹尾 優二 流域生態研究所 所長

丸谷 知己 北海道大学大学院農学研究院 教授

## ○関係行政機関

環境省釧路自然環境事務所

## ○地元自治体

斜里町

羅臼町

## ○事務局

林野庁北海道森林管理局

北海道環境生活部

※ アドバイザー会議には、検討テーマに応じ、適宜、特別委員を追加する場合があります。